

安全標識記号を策定する ISO 国際会議へ出席

ニッセンケン 防災・安全評価グループ 井上典明が今年も参加しました

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター(本部:東京都台東区蔵前、理事長:駒田展大)は、公益社団法人日本保安用品協会(JSAA)を通じ、**安全標識図記号の国際ルールを決める《ISO/TC 145/SC 2》**に参画し、規格策定に全面協力をしています。

現在、ニッセンケン防災・安全評価グループは、経済産業省が推進する「JIS Z 9098 災害種別避難誘導標識システム」の ISO 化提案に参画しており、昨年度のオランダ(デルフト)、フランス(パリ)にてそれぞれ開催された会議に続いて、ISO 国際会議に参加しました。

今回の国際会議は、ポルトガル安全協会で行われました。この団体はポルトガルの政府機関とも連携しており、安全衛生分野における図記号等を掌握しているという背景から今会議の会場となりました。(写真右)



国際会議の内容

ISO/TC 145/SC 2 は、安全に関わる標識や注意ラベル等といった安全標識類の国際標準を策定するための専門委員会です。現在当財団では、災害や事故から国民の安全を守る観点から、**反射材・蓄光素材等の視認性について、繊維製品にとどまらず幅広い用途・製品の評価**を行っています。

今回は参画している ISO/TC 145/SC 2 の WG1 及び WG7 の国際会議へ出席しました。(右記参照)

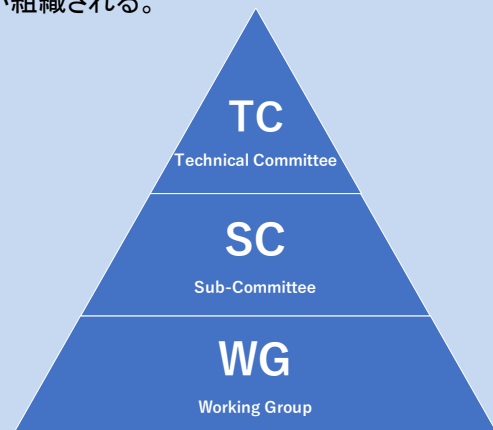
WG1は安全に関わる図記号の形状などについて、今回は日本を含む9カ国のメンバーが出席、また WG7では日本提案の「Natural disaster safety way guidance system」(ISO/WD 22578)について審議され、今回日本を含む4カ国のメンバーが出席して、それぞれ会議が行われました。

これからもニッセンケンは国際貢献や公益な面での事業参画に努めて参ります。

ISO 組織の解説

TC =専門委員会、SC =分科委員会、
WG =作業グループ

組織の階層は大まかに WG<SC<TC となっており、ISO 発行のための具体案の取りまとめや最終決定は TC が行う。また必要に応じ、具体的かつ詳細な内容の検討に SC や WG が組織される。



本件に関するお問合せ先 — お問合せをお待ちしております。

■ 防災・安全評価グループ 東京

〒124-0012 東京都葛飾区立石 4-2-8 Tel: 03-5875-6055 / bosai_anzen@nissenken.or.jp

■ 防災・安全評価グループ 大阪

〒535-0022 大阪府大阪市旭区新森 1-5-20 Tel: 06-6957-1101 / bosai_anzen@nissenken.or.jp